

輸送エリア

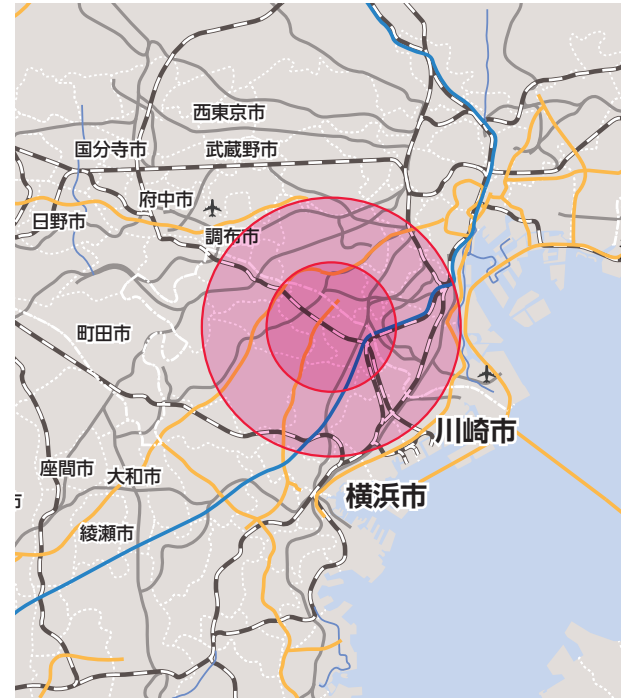
川崎工場、りんかい工場ともに工場拠点に約 10km 圏内を供給エリアにしております。
※マップは工場から半径“5km”“10km” 圏内を表示したイメージとなります。
詳細の輸送エリアに関してはお気軽にご相談・お問い合わせください。

りんかい工場輸送エリアマップ



りんかい工場
〒143-0002 東京都大田区城南島 2丁目 6番 3号
TEL 03-5492-8241 / FAX 03-5492-8242

川崎工場輸送エリアマップ



川崎工場
〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内 1丁目 22番 7号
TEL 044-777-0184 / FAX 044-740-1538

さらに詳しい情報はホームページで <http://www.miyamatsu-soc.co.jp/soc/>

こんじゃり君 について

光洋機械産業株式会社

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町 2-3-12
TEL : 06-6268-3100

Nプラス について

株式会社フソーマテリアル

〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内 1-22-7
TEL : 044-750-9836 / FAX : 044-753-1036

こんじゃりコン について

宮松エスオーシー株式会社

〒211-0051 神奈川県川崎市中原区宮内 1丁目 22番 7号
TEL : 044-777-0184 【受付時間】 8:00 ~ 17:00

お問合せ
直通ダイヤル

担当 営業部 村松
☎ 080-3219-9640

✉ e-mail でのお問い合わせ
muramatsu.t@miyamatsu-soc.co.jp



「こんじゃりコン」は、
低CO₂川崎ブランド'16において、
大賞に選ばれました。

低CO₂川崎ブランド'16 大賞受賞

こんじゃりコン

環境にやさしい安くて固まる低炭素商品

CO₂ + コスト

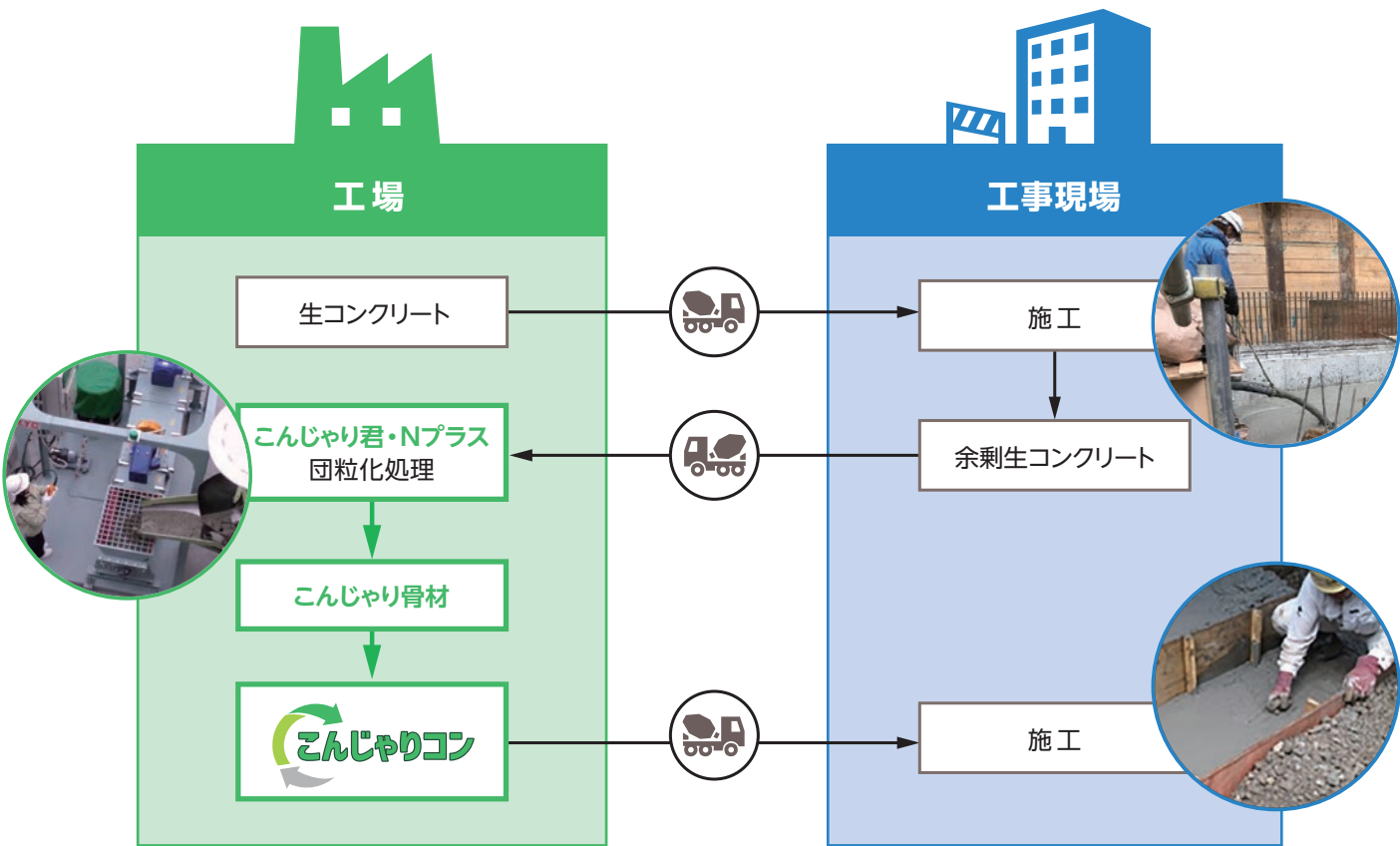
大幅 削減



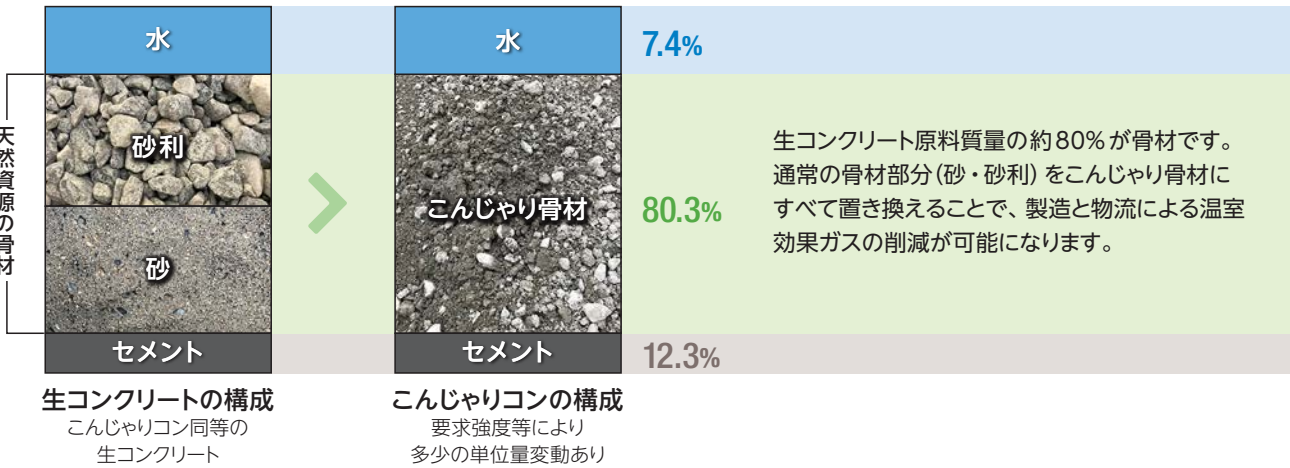
こんじゃりコンとは

建設現場で使われずに工場に持ち帰った余剰生コンクリートの多くは、産廃処理されています。再利用する場合は、一度、固めた後に破碎して路盤材等に利用されていましたが、しかし、この作業は時間と手間だけでなく保管場所も必要になるので、生産数量と再利用される量とのバランスに問題が残りました。余剰生コンを産廃処理・処分するのは、その費用だけでなく、処理・処分に伴う地球温暖化ガスの発生量もあり、このような処理・処分についてもエネルギー量を掛けないことが望まれます。これらの問題を踏まえ、独自開発を行いこんじゃりコンを開発しました。

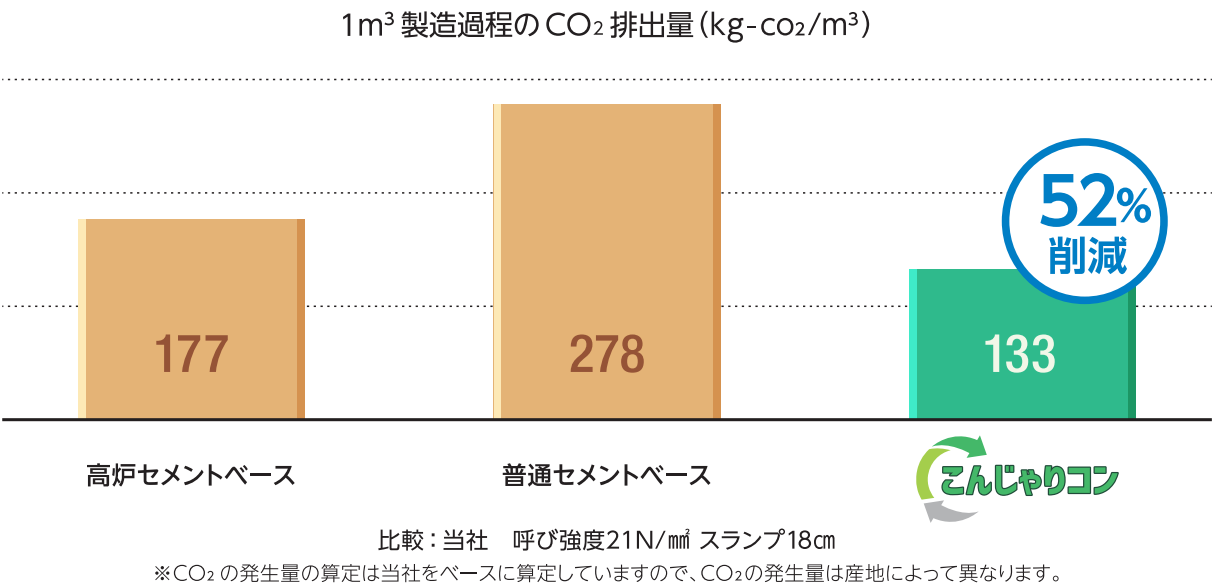
こんじゃりコンは、【こんじゃり君】と【N プラス】を使用して、余剰生コンを瞬時に団粒化することで得られた【こんじゃり骨材】を生コンクリートの原料にしています。この【こんじゃり骨材】は、所定の路盤材仕様に適する場合はそのまま使用できます。こんじゃり骨材を使用することで、天然資源である砂・砂利の運搬に伴う地球温暖化ガスの抑制と天然資源の枯渇化に多少なりとも寄与することができます。また、生コンクリートに使用するセメントは生産時に発生する炭酸ガスの量が多い事が知られていますが、発生量を抑えて生産した高炉セメントを用いることで、生コンクリート生産時の低炭素化を更に図ることができます。もともと、生コンクリートの原料である砂・砂利を骨材化していることから、価格面では天然資源を使用した一般的な生コンクリートに比べ、安価に提供することができます。



こんじゃりコンの成分比



CO₂ 削減 + 天然資源の消費減



用途



基礎部の根固めや不陸修正・建築物の外構や階段および塀等・漁礁等の製品原料

こんじゃりコン配合 (1m ³)		最大出荷量
こんじゃり骨材	1,700kg	 一日あたり 約300m ³
高炉セメント	280kg	
上澄水・スラッジ水	185kg	

※こんじゃりコンは呼び強度18N/mm²相当の強度です。目標強度及び用途内容で配合は変更させていただきます。

※大量打設の場合事前にご相談ください。